

〈委員紹介とカウンター当番のお知らせ〉

曜日	学年	氏名	一言
月・火	2年	副委員長 大場 悠成	副委員長として、1年生に委員会の仕事を教え、しっかりサポートしていきます。 図書委員会は色々な企画があるので、宣伝をしっかり行い、参加者を増やせるように頑張っていきます。
		佐藤 清智	日常の活動を忘れずに行い、学童訪問や色々な企画で皆さんに楽しんでもらえるように頑張ります。
水	3年	委員長 内田諒太郎	委員長としてしっかり自覚し、委員会活動や企画などを率先して行い、本を借りやすい雰囲気作りをし、来館しやすい環境にしていきます。 1年間を通して、活動の多い委員会なので、しっかり後輩達に仕事を引継ぎたいと思います。
		加藤 諒馬	3年生になり最後の委員会活動になるので、委員会での企画では、委員自ら楽しみ、参加してくれた生徒を楽しませられるように、笑顔に出来るように頑張ります。
木・金	1年	石塚 龍芯	仕事を早く覚え、一生懸命仕事をします。
		斉藤 祥瑛	皆が本を読んでくれるように努力します。 委員会の仕事を頑張ります。

これから よろしく お願いします！！



〈 図書委員会前期活動計画 〉

時期	活動内容
毎月	カウンター当番・本の整理整頓・図書貸出カードの活用・図書館通信発行
4月	読書・希望図書・映画鑑賞会アンケート
5月	第1回「朝読書週間」
6月	第1回「映画鑑賞会」
7月	第2回「映画鑑賞会」・向町すこやかクラブ読み聞かせ・夏季休業長期貸出
9月	第3回「映画鑑賞会」



〈 図書貸出冊数・期間・時間 〉

- ☆貸出冊数 2冊
 - ☆貸出期間 1週間
 - ☆昼休み 12時40分～13時20分
 - ☆放課後 15時45分～16時30分
(開館は17時まで)
- お昼休みは図書委員がいます。



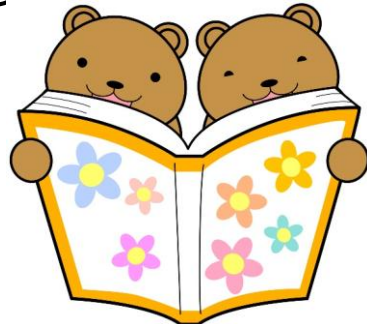
〈 図書館利用マナー 〉

- * 静粛、整理、整頓に留意する。
- * 図書館内での飲食は禁止。
- * 本、雑誌は公共のものなので勝手に持ち出さないこと。
- * 他人の迷惑になるような言動や行動はしないこと。
- * 著しく規則を守らなかった場合は、貸出、入館を禁止する。
- * 館内でのスマートフォンは使用禁止。
- * パソコンに許可なく触れない。
- * 図書委員、学校司書の指示に従うこと。

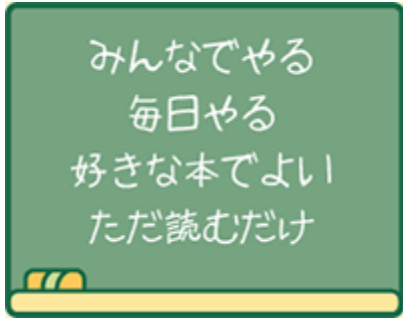


第1回 朝読書が始まります

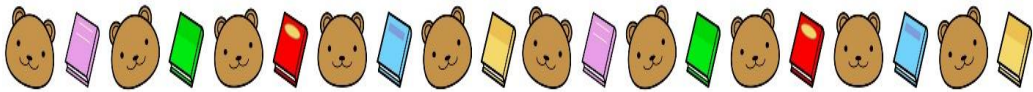
期間 5月26日(火)～6月5日(金)
 時間 8時20分～8時30分(10分間)



朝読書の4原則



※朝読書記録カードに、記入しましょう。
 ※雑誌やマンガ以外、読みましょう。
 ※本は前もって準備しておきましょう。



新庄志誠館高最上校図書館5月開放カレンダー

5月図書館企画 第1回 朝読書特集・子ども読書週間

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 子どもの日	6 振替休日	7	8	9
10	11 代休	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21 中間試験	22 中間試験	23
24	25 中間試験	26 朝読書	27 朝読書	28 朝読書	29 朝読書	30
31						

※○数字の日が開放日です

朝読書におすすめの短編集紹介!



『国家を作った男』 宮内悠介著

ジョン・アイヴァネンコがアメリカンドリームを掴むまでに一体何があったのか、そしてそれでも拭い去れなかった孤独の影にあったものとは。その生涯を描いた一遍をはじめ、13編。



『あいにくあなたのためじゃない』 柚木麻子著

いまは手詰まりに思えても、自分を取り戻した先につながる道はきっとある。この世を生き抜く勇気がむくむくと湧いてくる6編。



『それは令和のことでした、』 歌野昌午著

一行を読み逃せば、謎の迷宮から出られない。新しい価値観のゆらぎが生み出す7つの悲劇。



『グリフィスの傷』 千早茜著

からだは傷みを忘れない。たとえ肌がなめらかさを取り戻そうとも。傷をめぐる10の物語を通して癒えるとは何かを問いかける、切々とした疼きとふくよかな余韻に満ちた短編小説集。



『ヒカリノオト』 河邊徹著

時に慰め、時に励まし、彼らの人生の岐路に寄り添っていた一つの音楽が、場所や時間を超えて広がっていく奇跡を、ミュージシャンとしての経験を持つ著者がみずみずしく描いた連作2編。



『魂婚心中』 芦沢央著

現実とちょっとだけ異なる世界の謎と関係性の物語6編。



『六月のぶりぶりぎっちょう』 万城目学著

京都の摩訶不思議を詰め込んだ「静」と「動」の2編。



『黄昏のために』 北方謙三著

究極の絵を追い求める一人の画家の生を、選び抜いた言葉で彫琢した、魂の小説集です。孤高の中年画家が抱える苦悶と愉悦が行間から匂い立つ、濃密な18編。

